

実践NOTE 245

言語活動の充実とワークシートの工夫

静岡市教育センター長期研修員
(静岡市立南中学校所属) 教諭 前田 泰則

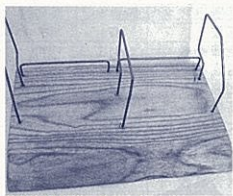


ワークシートの説明(筆者)

な手だてとなるのが言語活動の充実であると考えました。

工夫するとは

昨年度の授業では木材(板材)と金属(棒材)を使用したマルチラックの製作を行いました。



板材と棒材を使ったマルチラック

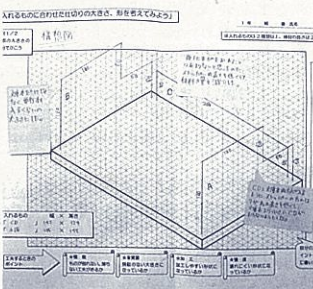
技術・家庭科においては、生徒が自分なりの工夫を生かして生活の営んだり、学習した事柄を進んで生活の場で活用したりすることなどをねらいとして授業に取り組んでいます。しかし、現代社会では、多種多様な製品が日常生活の中で使用されており、生徒が自分で工夫して生活する機会は少ないという現状があります。

設計時には収納物を支える金属棒材(仕切り)の形状を自分なりに工夫して考えていきます。そして、一口に工夫すると言っても、視点や明確にしなければ、その捉え方は人によって様々なものとなります。人と違うデザインならば良いのか、複雑な形状ならば良いのか、何を切り口にしていくのかで変わっていきます。

そこで、生徒には製品の設計・製作を通して主体的に工夫して生活を豊かにしていくことの楽しさを感じさせ、技術を適切に活用していく意欲を高めていきたいと考え、その際に有効な道筋をなぞる作業を行います。

製作図という言語に明確になった視点に基づき、自分の作品を設計していきます。そして、グループでの話し合いを通して、よりよい設計を目指していきます。その際、重要なものが製作図に重要になるのが製作図という言語を使った「か

今後は技術・家庭科のねらいの定着を一層確実にするために、教材やワークシートを吟味し、言語活動の充実を図りたいと思います。



自分の工夫を付箋で説明するワークシート

がどのような視点であるのか、図と言葉を合わせて考え確認することができま

また、話し合い活動の際に図と言葉を根拠を持って説明することができま

す。開く側は自分の製作図と比べながら、改良点を探していきます。

このように「はなす、きく」言語活動を通して、生徒は製作図を改良し、製作図を吟味していきま

す。このように「はなす、きく」言語活動を通して、生徒は製作図を改良し、製作図を吟味していきま

製作図という言語

今回の実践では、よむ、かく、はなす、きく言語活動を工夫しました。

ワークシートの内容を吟味することに

により、授業のねらいや評価も明確になってきます。

内容については、やるべきことが明確であり、ある程度難易度が高い場合、生徒の学習への取り組みはより意欲的になると感じ

ました。

今後



説明を英語表現で練習中(筆者右)

実践NOTE 246

言語を用いて積極的に人と関わっていくこうとする態度を育てる言語科の授業づくり

沼津市立浮島小学校 教諭 玉井 久子

沼津市には「言語科」という独自教科があり、「読解の時間」「英語の時間」の二つの時間で構成されています。

今回は、「英語の時間」の授業実践や研修の成果を紹介いたします。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

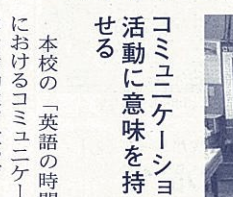
日本や外国のお菓子について話そう

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。



ALTとの会話にも挑戦

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

コミュニケーション活動に意味を持たせる

本校の「英語の時間」におけるコミュニケーション活動は、歌やゲームとともに、子どもたちが士で尋ねたり答えたりする活動も行っています。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

ALT(外国語指導助手)が母国の好きなお菓子の写真を見せるだけでなく、実際に子どもたちの目の前で説明をしながらお菓子を作り「かす」「混ぜる」など英語表現の意味を作る様子から理解することができました。

学校や地域に 舞台芸術の巡回公演

静岡県巡回劇場・ふれあい劇場の開催

県では、小・中学校の子もたちが、学校や地域のホールなど身近な場所で、音楽・伝統芸能・演劇の舞台芸術を体験できる「静岡県巡回劇場」と特別支援学校が対象の「静岡県ふれあい劇場」を開催しています。今年度の公演団体を紹介します。



人間国宝の四世東次郎さんが、おんぶする場面も!

◆音楽公演「はじける日本の音色」

邦楽パーカッションの三人の奏者によるユニット「INSPIRATION」です。日本の伝統音楽に斬新

演出は、琴・三味線・大蔵流「山本会」は、江戸時代から続く狂言の流派です。徳川幕府式楽(年中行事や儀式の時に上演される音楽や演劇)の伝統を継いだ品格と氣迫溢れる芸風に定評があ

り、国内外を問わず幅広く活躍しています。なんと、当主の四世東次郎さんは、「重要無形文化財各個認定」を受けた人間国宝です。

◆伝統芸能公演「青少年狂言鑑賞会」

こう聞くのと取っ付きにくいので、こぼれ狂言。滑稽な動作に笑いが生まれること必至です。

演劇集団「朗」は、観た人の心に響くあたたかい作品を」とのコンセプトのもと、平成13年に誕生。声優としてテレビでも活躍するベテランミュージカル俳優・福沢良一

巡回劇場、ふれあい劇場の公演で、プロフェッショナルの技を、楽しく分かりやすい解説とともに体験して、子どもたちが舞台芸術に親しみ、感性を豊かにしてくれることを願っています。

巡回劇場、ふれあい劇場の公演で、プロフェッショナルの技を、楽しく分かりやすい解説とともに体験して、子どもたちが舞台芸術に親しみ、感性を豊かにしてくれることを願っています。

地域のNPOが 高校生をつなぐ

特定非営利活動法人NPOサンプラス代表 飯倉清太

選んだ選択肢を正解に導ける時代の到来

平成23年秋、NPOサンプラスは伊豆総合高校と連携し、月1度の清掃活動を始めました。朝9時、伊豆市若者交流施設「9・11z」前に集合し、そこから1時間程度、大人と高校生の混成チームで街の清掃を行います。活動を重ねていくうちに、数人だった参加者が、土肥高校の生徒や教員も加わり、徐々に増えていきました。

当時の伊豆市によるアンケートでは、「伊豆市に将来住みたいか60%」と答えられた方が、この清掃活動に「興味がある」と答えた。これを機に、「地域を愛し、早く大人との接点を持つてもらう」というテーマで、伊豆総合高校や土肥高校との連携を模索したところ、私たちサンプラスと連携して「清掃活動」で協働する選択に行き着いたのです。

清掃から広がる輪 清掃活動を毎月開催するにあたっては、計画、実行、企画、調整、発信の「力」が必要であり、ボランティアで参加しているだけでは身につきません。また、「PDCA」サイクルで改善することも大事ですが、Pの前にも「D」

「清掃から広がる輪」の活動は、行動と継続によって、三島南高校、韭山高校、田方農業高校の生徒会へと波及し、更に清掃から高校生生徒会による「高校生サミット」の開催へとつながっています。さらにはアイデアが形成され、さらに次のつながりが広がります。

「答えを作り出せる時代」 これらの実績は、当初から「答え」が用意されたものではなく、高校生と私たち作り上げたものです。このように、今後は「答えを作り出せる時代」と考えます。私たちも、まだ「正解」に近づいていないのだから、私たちが、私たちの試み、他の地域の皆さんにも伝わり、まずは、学校と地域が、答えを求めて行動を始めることで、新しい地域の方程式を作り出されたいと思います。

選んだ選択肢を正解に導ける時代の到来

平成23年秋、NPOサンプラスは伊豆総合高校と連携し、月1度の清掃活動を始めました。朝9時、伊豆市若者交流施設「9・11z」前に集合し、そこから1時間程度、大人と高校生の混成チームで街の清掃を行います。活動を重ねていくうちに、数人だった参加者が、土肥高校の生徒や教員も加わり、徐々に増えていきました。

清掃から広がる輪 清掃活動を毎月開催するにあたっては、計画、実行、企画、調整、発信の「力」が必要であり、ボランティアで参加しているだけでは身につきません。また、「PDCA」サイクルで改善することも大事ですが、Pの前にも「D」

「清掃から広がる輪」の活動は、行動と継続によって、三島南高校、韭山高校、田方農業高校の生徒会へと波及し、更に清掃から高校生生徒会による「高校生サミット」の開催へとつながっています。さらにはアイデアが形成され、さらに次のつながりが広がります。

「答えを作り出せる時代」 これらの実績は、当初から「答え」が用意されたものではなく、高校生と私たち作り上げたものです。このように、今後は「答えを作り出せる時代」と考えます。私たちも、まだ「正解」に近づいていないのだから、私たちが、私たちの試み、他の地域の皆さんにも伝わり、まずは、学校と地域が、答えを求めて行動を始めることで、新しい地域の方程式を作り出されたいと思います。

選んだ選択肢を正解に導ける時代の到来

平成23年秋、NPOサンプラスは伊豆総合高校と連携し、月1度の清掃活動を始めました。朝9時、伊豆市若者交流施設「9・11z」前に集合し、そこから1時間程度、大人と高校生の混成チームで街の清掃を行います。活動を重ねていくうちに、数人だった参加者が、土肥高校の生徒や教員も加わり、徐々に増えていきました。

清掃から広がる輪 清掃活動を毎月開催するにあたっては、計画、実行、企画、調整、発信の「力」が必要であり、ボランティアで参加しているだけでは身につきません。また、「PDCA」サイクルで改善することも大事ですが、Pの前にも「D」

「清掃から広がる輪」の活動は、行動と継続によって、三島南高校、韭山高校、田方農業高校の生徒会へと波及し、更に清掃から高校生生徒会による「高校生サミット」の開催へとつながっています。さらにはアイデアが形成され、さらに次のつながりが広がります。

「答えを作り出せる時代」 これらの実績は、当初から「答え」が用意されたものではなく、高校生と私たち作り上げたものです。このように、今後は「答えを作り出せる時代」と考えます。私たちも、まだ「正解」に近づいていないのだから、私たちが、私たちの試み、他の地域の皆さんにも伝わり、まずは、学校と地域が、答えを求めて行動を始めることで、新しい地域の方程式を作り出されたいと思います。

選んだ選択肢を正解に導ける時代の到来

平成23年秋、NPOサンプラスは伊豆総合高校と連携し、月1度の清掃活動を始めました。朝9時、伊豆市若者交流施設「9・11z」前に集合し、そこから1時間程度、大人と高校生の混成チームで街の清掃を行います。活動を重ねていくうちに、数人だった参加者が、土肥高校の生徒や教員も加わり、徐々に増えていきました。

清掃から広がる輪 清掃活動を毎月開催するにあたっては、計画、実行、企画、調整、発信の「力」が必要であり、ボランティアで参加しているだけでは身につきません。また、「PDCA」サイクルで改善することも大事ですが、Pの前にも「D」

「清掃から広がる輪」の活動は、行動と継続によって、三島南高校、韭山高校、田方農業高校の生徒会へと波及し、更に清掃から高校生生徒会による「高校生サミット」の開催へとつながっています。さらにはアイデアが形成され、さらに次のつながりが広がります。

「答えを作り出せる時代」 これらの実績は、当初から「答え」が用意されたものではなく、高校生と私たち作り上げたものです。このように、今後は「答えを作り出せる時代」と考えます。私たちも、まだ「正解」に近づいていないのだから、私たちが、私たちの試み、他の地域の皆さんにも伝わり、まずは、学校と地域が、答えを求めて行動を始めることで、新しい地域の方程式を作り出されたいと思います。

選んだ選択肢を正解に導ける時代の到来

平成23年秋、NPOサンプラスは伊豆総合高校と連携し、月1度の清掃活動を始めました。朝9時、伊豆市若者交流施設「9・11z」前に集合し、そこから1時間程度、大人と高校生の混成チームで街の清掃を行います。活動を重ねていくうちに、数人だった参加者が、土肥高校の生徒や教員も加わり、徐々に増えていきました。

清掃から広がる輪 清掃活動を毎月開催するにあたっては、計画、実行、企画、調整、発信の「力」が必要であり、ボランティアで参加しているだけでは身につきません。また、「PDCA」サイクルで改善することも大事ですが、Pの前にも「D」

「清掃から広がる輪」の活動は、行動と継続によって、三島南高校、韭山高校、田方農業高校の生徒会へと波及し、更に清掃から高校生生徒会による「高校生サミット」の開催へとつながっています。さらにはアイデアが形成され、さらに次のつながりが広がります。

「答えを作り出せる時代」 これらの実績は、当初から「答え」が用意されたものではなく、高校生と私たち作り上げたものです。このように、今後は「答えを作り出せる時代」と考えます。私たちも、まだ「正解」に近づいていないのだから、私たちが、私たちの試み、他の地域の皆さんにも伝わり、まずは、学校と地域が、答えを求めて行動を始めることで、新しい地域の方程式を作り出されたいと思います。

選んだ選択肢を正解に導ける時代の到来

平成23年秋、NPOサンプラスは伊豆総合高校と連携し、月1度の清掃活動を始めました。朝9時、伊豆市若者交流施設「9・11z」前に集合し、そこから1時間程度、大人と高校生の混成チームで街の清掃を行います。活動を重ねていくうちに、数人だった参加者が、土肥高校の生徒や教員も加わり、徐々に増えていきました。

清掃から広がる輪 清掃活動を毎月開催するにあたっては、計画、実行、企画、調整、発信の「力」が必要であり、ボランティアで参加しているだけでは身につきません。また、「PDCA」サイクルで改善することも大事ですが、Pの前にも「D」

「清掃から広がる輪」の活動は、行動と継続によって、三島南高校、韭山高校、田方農業高校の生徒会へと波及し、更に清掃から高校生生徒会による「高校生サミット」の開催へとつながっています。さらにはアイデアが形成され、さらに次のつながりが広がります。

「答えを作り出せる時代」 これらの実績は、当初から「答え」が用意されたものではなく、高校生と私たち作り上げたものです。このように、今後は「答えを作り出せる時代」と考えます。私たちも、まだ「正解」に近づいていないのだから、私たちが、私たちの試み、他の地域の皆さんにも伝わり、まずは、学校と地域が、答えを求めて行動を始めることで、新しい地域の方程式を作り出されたいと思います。

選んだ選択肢を正解に導ける時代の到来

平成23年秋、NPOサンプラスは伊豆総合高校と連携し、月1度の清掃活動を始めました。朝9時、伊豆市若者交流施設「9・11z」前に集合し、そこから1時間程度、大人と高校生の混成チームで街の清掃を行います。活動を重ねていくうちに、数人だった参加者が、土肥高校の生徒や教員も加わり、徐々に増えていきました。

清掃から広がる輪 清掃活動を毎月開催するにあたっては、計画、実行、企画、調整、発信の「力」が必要であり、ボランティアで参加しているだけでは身につきません。また、「PDCA」サイクルで改善することも大事ですが、Pの前にも「D」

「清掃から広がる輪」の活動は、行動と継続によって、三島南高校、韭山高校、田方農業高校の生徒会へと波及し、更に清掃から高校生生徒会による「高校生サミット」の開催へとつながっています。さらにはアイデアが形成され、さらに次のつながりが広がります。

「答えを作り出せる時代」 これらの実績は、当初から「答え」が用意されたものではなく、高校生と私たち作り上げたものです。このように、今後は「答えを作り出せる時代」と考えます。私たちも、まだ「正解」に近づいていないのだから、私たちが、私たちの試み、他の地域の皆さんにも伝わり、まずは、学校と地域が、答えを求めて行動を始めることで、新しい地域の方程式を作り出されたいと思います。

なアプローチでアレンジしたオリジナル曲を中心とし、楽しい解説を交えて日本古来のリズムやメロディーをお届けします。また、体験コーナーなども加え、音楽の楽しさや日本の伝統音楽のすばらしさを体感できるプログラム構成となっており、国宝です。

「青少年狂言鑑賞会」 観た人の心に響くあたたかい作品を」とのコンセプトのもと、平成13年に誕生。声優としてテレビでも活躍するベテランミュージカル俳優・福沢良一

「朗」は、観た人の心に響くあたたかい作品を」とのコンセプトのもと、平成13年に誕生。声優としてテレビでも活躍するベテランミュージカル俳優・福沢良一

県自然史博物館ネットワーク共催 企画展「里山の自然」

人々は古来、自然を利用して生活してきました。里山とは、人間が手を加えた自然、具体的には集落の周辺の山や川、農地のことを指します。本展では里山に生息する動植物を通して、その多様性や変遷、そして現在の里山の自然をより身近に感じることができます。

■会期 11月13日(水)～12月26日(木) 午前9時～午後5時
■会場 県立中央図書館2階インフォメーションホール、3階展示室
■展示内容 里山の様子や動植物のパネルや写真、里山に生息する動物の剥製や頭骨、昆虫の標本等
※12月1日(日)、NPO自然史博物館ネットワーク職員が展示について解説します。直接会場の職員に声を掛けてください。午前10時～正午、午後1時～4時。(場所:3階展示室)
問・申 県立中央図書館企画振興課 054(262)1246

一人一人が尊重される社会づくりのために ～「人権教育指導者研修会」参加者募集～

■日時:平成26年1月22日(水)午前10時～午後4時10分(会場:グランシップ)
■講演(午前)【講師】司馬クリニック院長 司馬 理英子さん
ADHD(注意欠陥・多動性障害)の特徴を、「のび太・ジャイアン症候群」と名付け分かりやすく紹介したことで知られています。
■課題別分科会(午後) 分科会テーマ(講師・実践発表校)(敬称略)
①子どもをめぐる人権(大阪市立大学名誉教授・森田洋司) ②障害のある児童生徒をめぐる人権問題(静岡大学教育学部准教授・小林朋子) ③同和問題と学校教育(ノンフィクションライター・角岡伸彦) ④女性をめぐる人権問題(静岡県立大学国際関係学部教授・犬塚協太) ⑤学校における人権教育の推進(川根本町立中川根中学校(H24・25年度人権教育研究指定校))
■申込締切り 12月6日(金)どなたでも参加いただけます。
問・申 教育政策課人権教育推進室 054(221)3133

教科の授業との関連がわかる環境学習のポイントを作成しました!

教科の枠を超えた横断的な取扱いのヒントが満載

環境学習に関連した教科・科目などで、学習を深めたり、環境学習として発展させたりする際に、御活用ください。

発達段階ごとに、環境学習の目指す姿と学習内容を一覧表で見やすく掲載
学校の学習内容を生かせるよう、幼児期、小学校(低学年、中学年、高学年)、中学校、高等学校、成人期の発達段階別に、学習の目標や内容を掲載しています。また、次のような環境学習の展開例も掲載しました。
(例1)小学校5年生での「生物・環境保全型農業・農業用水」をテーマにした理科、社会科での展開例
(例2)中学校での「エネルギー問題、省エネ」をテーマにした社会科での展開例
本冊子は、9月中旬に各学校・幼稚園等に配布しました。また、ホームページからダウンロードもできます。

静岡県環境学習データバンク

問 環境ふれあい課 054(221)2919

おはようAngle

わくわく家庭科～実感を伴う理解を大切に～



という観察の視点を明確にして実験を進めていきます。水が布を通して机の上に溜まっていることに気が付き、服を持ち上げて下からのぞき始めました。さらに、「体育着もやってみよう」「肌に触れた感じを知りたいから腕に服を乗せた状態で水を垂らしてみよう」と、追究意欲を高めていきます。

子どもたちの疑問から小学校6年生の家庭科「衣服の快適な着方を考える」授業です。夏を気持ちよく過ごすためには、薄い布でできた服、風をよく通す服、速く乾く服、汗をよく吸う服を選ぶべきと子どもたちは考えました。そして、「どの服が風をよく通すだろう」「どの服が汗をよく吸い取るのだろう」という疑問が生まれ、それを確かめたいという学習問題で授業を進めることになりました。

子どもたちは、「扇風機の風がよく通る服が風をよく通す服だ」「スポイトで水を垂らしてよく染み込む服が、汗を吸う服だ」などの予想を立て、具体的な実験方法を自分で考えてきました。あるグループは、「同じ分量の水を垂らしながら染み込み具合を見る」

実感を伴う学習に

観音山アウトドア教室参加者募集

中学生と高校生を対象に、野外活動に必要な知識や技能を習得するための研修会を開催します。修了後には、初級青少年指導者に認定されます。

- 日時 平成26年11月11日(土)～13日(月・祝) (2泊3日)
■定員等 中学生・高校生計30人程度(参加費5000円)
■受付 11月25日(月)～12月16日(月)
■申込み 郵送にて(当日消印有効)
※詳細はお問い合わせください。
問・申 観音山少年自然の家 053(545)0111



いじめ電話相談夜間対応窓口の開設

平成25年10月1日から、いじめ電話相談の夜間対応窓口を開設しました。県内在住の児童生徒や保護者等のいじめ事案に関する相談を受け付けています。

- 電話番号 0570-0-78310 (固定電話優先)
■対応時間帯
・平日:午後7時～翌日午前9時
・土、日、休日:午後5時～翌日午前9時
・12/29～1/3:午前9時～翌日午前9時



【学校教育課】

この冬は焼津青少年の家へGO! 参加者募集中

- にこにこ家族～手作りで迎えるお正月～
■期日 12月14日(土)～12月15日(日) (1泊2日)
■内容 ミニ門松作り、餅つき、ふれあいパーティーなど
■対象 家族単位での参加(17家族まで)
■申込み 11月30日(土)午後5時までに、電話にて。
■その他 要参加費・材料費。応募者多数の場合は抽選。

チャレンジスクール2013冬～明日に向かって歩こう～

- 期日 12月25日(水)～12月27日(金) (2泊3日)
■内容 早朝登山、餅つきなど季節を感じるイベント多数
■会場 焼津青少年の家及び焼津市内
■対象 小学4・5・6年生、中学1年生 計100人
■申込み 11月26日(火)までに郵送にて。
■その他 要参加費。応募者多数の場合は抽選。

問 静岡県立焼津青少年の家 054(624)4675
詳細は当所HPを御覧ください。
静岡県立焼津青少年の家 検索

平成25年度 静岡県埋蔵文化財センター遺跡調査報告会

「ふじのくにの原像をさぐる」参加者募集中

県埋蔵文化財センターが近年県内各地で行った発掘調査の成果を報告します。

- 日時 11月9日(土)午後1時～午後4時
■会場 静岡県立美術館講堂(静岡市駿河区谷田53-2)
■その他 定員200人、事前申込み不要、参加費無料(定員を超えた場合は入場をお断りする場合があります)
問 県埋蔵文化財センター 054(262)4261

ひきこもりで悩んだときは…「アンダンテ」に

青少年交流スペース「アンダンテ」は、15歳から30歳代のひきこもり傾向にある青少年及びその家族を支援するための交流の場です。無料で利用できます。

- 内容 個別面談・電話相談、フリースペースの提供、親(保護者)の会の実施
問・申 アンダンテ(静岡市駿河区馬淵1-17-1)
054(255)0600
詳細はHP 静岡県 アンダンテ 検索

「有徳の人」に会いに行こう 其の六

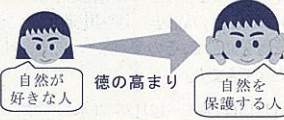
「有徳の人を育む秋」 秋も深まってきました。「秋」が付くフレーズはたくさんありますが、それを行うに移すことは、「あなたの中にいる有徳の人は、誰かに出会えるチャンスかも知れません。」

動に出会えることがあります。 「ちよぼらの秋」「ちよつとしたボランティア」で、「ちよぼら」。

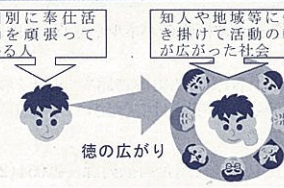
平成24年3月に発行した「静岡県の徳育実践事例集 ホームページ」にも掲載中。ここでは、「有徳の人」を育む静岡県の徳育の基本的な考え方を、今その人が持っている徳を伸ばす、一人一人の徳を社会全体に広げます。

「静岡県の徳育」の基本的な考え方

今その人が持っている徳を伸ばす



一人一人の徳を社会全体に広げる



読書は、世界観を広げ、気づいていなかった自分の良さを知らせてくれることがあります。 △スポーツの秋 例えは、スポーツイベントに参加することで、世を超えた交流が生まれ、人の輪が生み出す感覚。 【教育政策課】

EDITOR 皆さん、ふじのくにの静岡の空の青さ、水の色、山並み、空の広さなど、自然の恵みを感じながら、また、静岡の歴史や文化、そして、静岡の未来について考えてみましょう。

【社会科の先生必見! 静岡の名産・サクラエビの産業、歴史について楽しく学べます】

GRANSHIP 駿河湾の名物サクラエビ 富土川が育む命をめぐって 12/10 14:00~ グランシップ 9階910会議室 参加料:800円(当日会場にて支払い) ※事前申込制、先着順